



近年、「ウォークアブル」という言葉をよく耳にします。

まちなかを車中心から人中心へと転換し、

歩いて楽しい、歩きたくなる空間を形成する、

新しいまちづくりのあり方です。

しかし、その取り組みの目的や手法は実に多様で、

アプローチや捉え方も異なります。

その多義性を認識しないと、

ウォークアブルは開発を進めるための、

単に便利な「合言葉」になってしまいかもしれません。

日本が目指すべきまちづくりを考えるために、

ウォークアブルの本質に迫りたいと思います。